



社会福祉法人 人を支える 生活を支える

**佐賀整肢学園**

SAGA SEISHI GAKUEN Since 1960

■発行：平成 29 年 3 月  
 ■発行元：社会福祉法人 佐賀整肢学園  
 ■発行者：理事長 中尾清一郎  
 ■編集：法人広報誌編集委員

# 学園タイムス

2017-3 Vol. **13**

Sagaseishigakuen times

社会福祉法人 佐賀整肢学園

佐賀の史跡シリーズ

「祐徳稻荷神社」

佐賀県唐津市に鎮座する祐徳稻荷神社は、貞享4年（1687年）那珂唐津藩主・鍋島直正公の夫人である花山院万子姫が鍋島家に嫁ぐ際、京の某家に祀られていた稻荷神社の分霊を奉祀したものです。伏見稻荷、笠間稻荷とともに日本三大稲荷のひとつに数えられ、年間300万人の参拝者が訪れます。善法殿、御神楽殿、櫻門等、経済堂極彩色の定仕華麗な母宮は「晴語日光」と称され、その風格と社観は見事なものです。また境内の御稲社は木彫り技法など素晴らしく、江戸時代の神社建築の特徴を残しており、佐賀県の重要文化財に指定されています。



巻頭言…2

REPORTS…3

事業所 TOPICS…4～5

タイムス特集…6

学園 FOCUS…7

局長随想 リレーコラム…8

ボランティア・施設見学・実習状況 みどころ…8



## ハワイ・真珠湾訪問で 考えたこと

社会福祉法人 佐賀整肢学園  
理事長

中尾 清一郎

年末、ハワイの真珠湾（パールハーバー）を見学した。訪問の2日前には日米両首脳が現地を訪れ、戦死者を慰霊したばかりである。いうまでもなく真珠湾は1941年12月7日朝（現地時間、日本は8日）アメリカ太平洋艦隊の根拠地を日本海軍機が奇襲、戦艦8隻撃沈または撃破したのをはじめ航空機や港湾施設に多大の損害を与えた歴史的な場所である。この奇襲攻撃もって太平洋戦争は始まり、「リメンバー・パールハーバー」の合言葉のもと、アメリカの対日世論は沸騰した。当時日米関係は緊張状態にあったが、日本は昭和天皇以下アメリカとの戦争を望まず、アメリカはヨーロッパ情勢に関心が傾き、圧倒的国力差の日本が挑んでくるとは考えていなかった。ではなぜこの無謀な戦争が始まったか。それはお互いの無知と偏見から来る意思疎通の悪さである。日本は南方資源確保のために、ドイツに屈服したフランスの植民地・南部仏印（南ヴェトナム）に進駐することをためらわず、アメリカは日本の軍事力を過小評価、石油禁輸でおとなしくなるとタカをくくっていた。両者は「相手はこちらに都合のよい方向で考え行動する」と勝手に思い込んでいたのである。日本海軍はアメリカからの石油輸入がなければ行動できない。備蓄を使い果たしたときにはアメリカの攻撃はもとより高圧的な外交的圧力にも日本は抵抗できなくなる。座して死を待たないなら「清水の舞台から飛び降りる（東條英機の言）」覚悟で戦争に踏み切ったのが当時の指導層の考え方である。アメリカとの外交交渉が表面上は続けられる一方、軍事作戦は粛々と進行し、アメリカの意表をつく奇襲攻撃が構想され、成功した。日本では真珠湾攻撃を一種の「壮挙」「世界軍史上の画期的成功」ととらえるが、アメリカ側は「事前通告なしのだまし討ち」「アメリカ世論を奮い立たせ、戦略

的には日本の大失敗」との認識である。攻撃で瞬時に沈没し多くの犠牲者を出した「戦艦アリゾナ」の水面上に記念館が設けられ、近くには日本の降伏調印に使われた「戦艦ミズーリ」が威容を誇っている。

ミズーリでは1945年9月2日の降伏調印式の模様が詳しく解説されているが、東京湾でミズーリが停泊した場所は幕末、ペリー提督が黒船を率いて江戸湾に迫ったのとほぼ同じ場所、しかもペリーの旗艦に翻った古い星条旗を博物館から引っ張り出し、調印式当日にはそれを額に入れて飾ったという。日本の降伏はまさに第2の開国であったというのが戦勝国アメリカの歴史観なのであろう。

真珠湾基地の陸上施設では奇襲攻撃に至る日米両国の歩みが比較的バランスよく展示され、攻撃の立案者・山本五十六司令長官についても「ハーバードに学び、アメリカの国情をよく理解し開戦には反対していた」と好意的な紹介がなされている。

日本の映画やドラマではアメリカの実力を知る山本五十六が、大言壮語するばかりの陸軍や松岡洋右外務大臣、決断できない近衛文麿などの政治家と一線を画し、戦争に反対しながら対米必勝の作戦を練る矛盾が繰り返し語られている。このような山本の人間像は日本人の琴線に触れる態度だろう。しかし真珠湾攻撃はアメリカに日本人はするまい、という先入観を深く刻み込み、広島・長崎への原爆投下もファシズムとの戦争に勝利するには必要であったという説明がなされる。

古代ローマの英雄ジュリアス・シーザーは「人は自分が見たいと思う事柄しか見ない」と喝破した。私たちはこれからも歴史の教訓に学び、相手は当方の都合よく行動しない、という当たり前の現実思いを致さなければならない。

## 国際 交流

### 韓国釜山 サジク総合社会福祉館来訪

12月9日、平成25年に協定を締結し、交流を行っている韓国釜山広域市のサジク総合社会福祉館より9名の方が、今回は「かんざき清流苑」「在宅サポートセンターかんざき清流苑」「かんざき日の隈寮」の3施設に来訪されました。これは、11月に佐賀整肢学園より釜山に訪問したことに對して来訪されたもので、これまでも平成24年には「佐賀向陽園」、平成25年には「こども発達医療センター」と「オクス」、平成26年には「からつ医療福祉センター」へ来訪されています。

サジク総合社会福祉館は、在宅の高齢者や低所得者などを対象とした施設を運営されており、高齢者施設である「かんざき清流苑」「在宅サポートセンターかんざき清流苑」や救護施設である「かんざき日の隈寮」に対し高い関心を持たれており、活発な質問をいただきました。特に、福祉館自体が医療部門や入所部門を持たない通所の事業所であるため、見学された施設における医療的な関わりや、入所におけるノウハウを通所事業にどのように展開していく



かんざき日の隈寮にて（筆者後列右端）

が、熱心に見学されていました。

午前中の見学を終え、当法人職員数名と昼食会を行いました。気どらない雰囲気の中、韓国と日本の焼肉の違いやそれぞれの国の芸能人の話、各々のプライベートの話などをして交流を深めました。

サジク総合社会福祉館との交流は、医療と在宅、入所のサービスを複合的に行う当法人と、地域との共生を先進的に行うサジク総合社会福祉館の特徴をお互いが学び合い、刺激しあうことができる意義深いものであると考えます。今後もこの交流を継続することで、広い視野での社会福祉サービスの向上を図るとともに、法人全体としての一体感を構築していきたいと考えます。（法人事務局 田中邦典）

## 定年 祝賀

3月末で定年を迎える11名の職員を紹介します。

### 石原美紀子（看護師）

オクス 入所サービス課

この度、無事に定年退職を迎えることができますのも、多くの方々の支えなくては叶わなかったと感謝の気持ちでいっぱいです。

### 岩瀬 裕幸

からつ医療福祉センター・久里双水園施設長

平成元年に理学療法士として採用され早28年が経過しました。平成14年には唐津の地において施設長を拝命し、15年の施設長の任務を遂行できたことは皆様方の協力のおかげと本当に感謝致しております。

### 東島 慶（看護師）

からつ医療福祉センター在宅事業部在宅サービス課

看護の道一筋42年。天職だ。健康な身体を授けてくれた両親に感謝する。素敵な還暦を楽しみたい。

### 大島 敦子（看護師）

こども発達医療センター 第二療育課

第二療育の現スタッフ、一緒に働いたスタッフの皆様は、色々気を感じていただき温かい目で見ていただき、ありがとうございました。ありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

### 島内由美子（介護支援専門員）

オクス 在宅サービス課

働きやすい環境で皆様に支えられ今まで勤務することができて、感謝の気持ちでいっぱいです。

### 有光 敦子（調理師）

からつ医療福祉センター在宅事業部 児発センター課

楽しい日々や、元気で仕事ができ、春、定年を迎えられることを幸せに思います。家族や職場のみんなに感謝です。

### 西 圭子（生活支援員）

佐賀向陽園 入所サービス課 主任

人生の半分を共にした佐賀向陽園。貴重な学びと経験を有難う！この素敵な職場に感謝！！

### 千綿 淳子（看護師）

こども発達医療センター 西棟療育課

一緒に働いた職員の皆様に支えられ、そして利用者様笑顔に元気づけられ、楽しく仕事をすることができています。これからもよろしくお願いたします。

### 鵜池 恭子

かんざき清流苑 副施設長

意欲と反比例して体力や記憶力の衰えを感じる今日この頃です。若さの秘訣を募集中です。すべての皆様に感謝します。

### 高原 寿文（職業指導員）

からつ医療福祉センター在宅事業部在宅サービス課

気持ち良く仕事をさせていただき皆さんにはとても感謝しています。ありがとうございました。

### 北村 佳子（栄養士）

かんざき日の隈寮 総務課 主任

施設長はじめ職員の皆様に助けていただきこどもで来れました。只々感謝です。ありがとうございました。



11月12日に佐賀市内のホテル「グランデはぐくれ」にて、療育研究会を開催しました。例年はこどもセンター内の職員を対象として、センター内で開催しておりますが、今回は第10回という節目にあたり、会場を変え大々的に行い、当日の参加者も150名を超える大規模な研究会となりました。

演題も病棟やリハビリ部門に限らず、外来からも積極的に出され、例年より多い16演題が集まり、半日をかけて貴重な発表の機会となりました。日頃はお互いの部署間での取り組みなどはなかなか見えない部分もあり、発表を聞いて初めて知った取り組みだったという感想も多く聞かれました。また、質疑応答では時間内におさまりに

れないほど活発な意見交換がなされ、たいへん有意義な発表会となりました。

午後は記念講演として、曙光リハビリテーション病院診療部長の本多知行先生より「摂食・嚥下・食事のリスク」をテーマにご講演いただきました。参加者が日頃携わる業務・支援に深く関わる内容ということで、非常に興味深い講演となりました。(竹下 敬二)

## もちつき大会

12月

からつ医療福祉センター

12月6日、からつ医療福祉センターの恒例行事となっている、もちつき大会が行われました。当日は、理事長も参加し、「ヨイショ、ヨイショ」のかけ声と共に威勢よくスタートしました。最近は、杵と臼を使っての餅つきを体験することが少なくなってきているようですが、当センターでは、開設当初より続けています。利用者の皆さんも朝から楽しみにされている様子で、迫力ある餅つきに、会場からは「ヨイショ、ヨイショ」のかけ声がかかり、大盛り上がりとなりました。実際に餅つきを体験された利用者の方からは「楽しかった、また来年もやりたい。」との感想が聞かれました。つきたてのお餅は、あん餅やきな粉餅にして振る舞われました。利用者の皆さんも美味しそうにお餅を食べたおられ「美味しかったよ!」「まだ食べたい」と満足そうな表情でした。



また、今年も多くのボランティアの方々のご協力もあり、事故等もなく安全にもちつき大会を開催することができました。これからも、伝統ある行事のひとつとして、もちつき大会が続けていけるように支援していきたいと思えます。

(中川 里美)

## 福祉ホームきらり・クリスマス会

12月

オークス



12月21日、福祉ホームきらりにてクリスマス会を実施しました。開所から4年が経ち、現在では男性7名の方が入居されています。クリスマス会は施設長、管理人、入居者の皆さんが参加され、一年を振り返る日としても特別な会となっています。

クリスマス会はチキンとケーキが用意され、入居者の皆さんも楽しげな表情をされていました。食事を楽しみながら、入居者同士で自身の入居当時を振り返ったり、「1年経つのが早いね」などと今年一年あった出来事を思い出しながら話をされている姿が印象的でした。会自体は短い時間でしたが、入居者同士の良い親睦にもなり、楽しい時間を過ごすことができました。来年もまた、入居者の皆さんの笑顔が見られることを楽しみにしています。(横尾 圭太郎)

# 事業所 TOPICS

(11月～1月)

## 有料老人ホームクリスマス会・イルミネーション見物 12月 かんざき清流苑



在宅サポートセンターかんざき清流苑の有料老人ホームでは、12月20日に毎年恒例のクリスマス会を実施しました。クリスマス会では、日頃の食事で提供されることが少ない、マグロや鯛などの握り寿司や和風オードブル、サンドイッチオードブル等をバイキング形式にて提供し、利用者の皆さんは普段と違った食事をお腹一杯召し上がり、満足されたようでした。また、職員のハンドベル演奏やクリスマスの歌を唄って盛り上がり楽しんでいただきました。

12月22日には、佐賀市の中央通りにイルミネーション見学に行ってきました。佐賀駅から県庁にかけて綺麗に装飾されたイルミネーションを、歓声を上げながら車窓から見物され、今年の冬の良い思

い出になられたかと思ます。

まだまだ寒い日が続きますが利用者の皆さんには、この寒さに負けず元気に過ごしていただき、来年もたくさんのごことを楽しんでもらいたいと思います。(江里口 徳彦)

## 新年お祝い会

1月

かんざき日の隈寮

平成29年最初の行事として元日に「新年お祝い会」を行いました。施設長からの新年の挨拶に続き、年男年女になられた4名の方に新年の抱負を語っていただきました。酉年にちなんで「自立に向けて羽ばたきたい」「今年は羽を休めたい」等の声が聞かれました。その後、利用者の方は豪華なおせち料理に舌鼓を打たれました。



これからの生活や仕事への活力をもっていたけりような新年お祝い会になりました。

また今年から、かんざき日の隈寮を退所され単身生活を送られている方々に、おせち料理の配布を開始しました。施設とのつながりや継続的な支援があることを感じていただき、たいへん喜んでいただきました。(小柳 清人)

## 新年祝賀会

1月

佐賀向陽園・わいわい



今年も、元日に新年祝賀会を開催しました。佐賀向陽園の新年祝賀会は、施設入所者をはじめ、地元の高齢者へも声かけも行ない、あたたかい雰囲気でお正月を迎えました。

当日は、施設長による新年の挨拶に始まり、お屠蘇による年取りの儀を行った後に、おせち料理やお雑煮を囲みながら、利用者同士や職員と、今年の抱負や最近の話題などについて会話が弾み、賑やかな時間を過ごすことができました。

会の終わり頃には職員手作りの干支神輿や獅子舞による催しもあり、今年一年も平和に無病息災で過ごせるようにと皆で願いました。

新年祝賀会の財源には、毎年「NHK歳末たすけあい募金」配分金を活用しています。この募金活動には、各金融機関、善意銀行等の窓口を通じて寄せられた県民の皆様のおたすけの善意のほか、「知名土作品頒布展」、「カレンダーバザー」に協力された企業、団体からも寄せられています。この貴重な浄財の趣旨を参加者に報告し、今年も楽しい元旦を迎えることができましたと思います。(早川 清十郎)

# 事業所紹介 就労支援(農業)

## 在宅サポートセンター・オクス ビーンズ

オクスの就労支援B型事業所ビーンズでは、2年前から農業に取り組みようになりました。それは、利用者の皆さんに「できる」仕事として、袋詰め作業であれば取り組んでいただける、さらに、商品の販売・納品を通じて様々な形で社会参加ができると考えたからです。実際に始めると、働く方々から、「野菜で季節を感じることができる」「新鮮な野菜は美味しい」「自分たちの商品を買ってもらえるのが嬉しい」などの声が聞かれました。

また、地域においては、休耕地・耕作放棄地や農業における高齢化・後継者問題があり、ビーンズと地域が連携してそれらの問題の解決を目指せいかと考えました。実際に休耕地で農業を始めると、「あそこが荒地になっていたの、心配しとったとよ〜ありがとね〜」「頑張ってるね〜」「きれいな野菜のできよるね〜」など声をかけていただき、地域の方との交流の機会も増えてきました。

現在は、季節に応じて白菜、玉葱、なす等の農産物の生産と販売を行っています。まだ小規模の農地しか耕作できていませんが、今後は生産数を拡大しつつ、



### 現在の畑の総面積

・オクス農園①(こどもセンター敷地内)	1,038㎡
・オクス農園②(来迎寺)	371㎡
・オクス農園③(川原農園)	763㎡
・オクス農園④(オクス内)	486㎡
合計	2,658㎡

加工にも挑戦していきたいと考えています。仕事の幅を広げ、就労機会の増加につなげるだけでなく、地域の活性化にも貢献できればと思っています。(松石 聡)



畑の一部(ドローンにて撮影)

## からつ医療福祉センター くるみランドリー

就労継続支援B型事業所くるみランドリーでは、主に洗濯業務を就労支援の作業として行っていました。3年ほど前から、新たな事業への取り組みとして、ランドリー敷地内の畑を利用し、野菜作りにチャレンジするようになりました。現在は、主に大根やジャガイモ等を季節に応じて作っています。



就労利用の皆さんは、職員と一緒に収穫や袋詰め、販売などに参加し、体験を含めた作業を行っています。野菜の出来映えや収穫量が少ないこともあり、現在はセンターの職員を中心に販売を行っています。また、販売結果を共有し、次の野菜作りに繋がっています。皆さんにも楽しんで取り組んでもらっているようです。

小規模ではありますが、今後は種類を増やすなどして、就労支援のひとつとして定着させていければと思っています。

(高原 寿文)



## 就労の野菜で作る!

### 白菜のミルフィーユ鍋

#### 材料

白菜・適量  
豚肉・適量  
市販の鍋の素

①白菜の葉と豚肉を1枚ずつ重ねていきます。このとき、芯の部分は互い違いにするときれいに重なります。



③鍋に合わせてきつめます。



②鍋の深さに合わせてざく切りにします。



④市販の鍋の素を入れて、煮込んだらできあがり!



白菜と豚肉だけのシンプルな鍋ですが、見た目もきれいでとても美味しいですよ! キムチの素を入れたり、ポン酢で食べたりと、アレンジも自由です。ぜひお試しください。



佐賀整肢学園で活躍する様々な人に焦点を当てる「学園 FOCUS」。

今回は、趣味でバイオリンを演奏する法人事務局の田中さんに、クラシック音楽の魅力などをざっくばらんに語ってもらいました。

# 学園 FOCUS

**Q** バイオリンはいつ頃から始めていますか？始めるきっかけがあれば教えてください。

**A** 小学1年生から習い始めました。3つ上の兄が習っていて、レッスンのあとにアイスクリームを買ってもらっていました。それで「僕もバイオリンをしたい！」と。動機はかなり不純です（笑）。その後は「なんとなくバイオリンが弾けるとかっこいいんじゃないか」という、これまた不純な動機で続けていました。高校時代は大学でオーケストラに入るというのを目標にして、大学でようやくクラシック音楽の楽しさに触れたような気がします。まあ、バイオリンに関しては下手の横好きですけど。

**Q** クラシック音楽の楽しさ、魅力をお聞かせください。

**A** クラシック音楽はほとんどに歌詞がありません。歌詞が無い分、音から作曲家の気持ちを読み取ることになります。だから解釈は人それぞれで、好みも人それぞれなので、懐がとて深いのが魅力です。それと、口ずさんでも、歌詞を間違えて恥ずかしい思いをすることはないですし、楽曲も多くは知られていないので、音程やリズムが多少違っててもバレないです。流行り廃りがないので、歌っていて「その歌なつかし〜」とか「古っ！」とかいうツッコミも受けずにすみます（笑）

よく、「眠くならないの？」と聞かれますが、私も演奏会を聴きに行くと寝てしまいます。実は、子どもの頃、父親にクラシックの演奏会を聴きに行こうと誘われて、「眠くなるから行かない」と言ったことがありました。それに対して父が「何を言ってるんだ。お金を払って、いい音楽を聴いて昼寝ができるなんて、最高の贅沢じゃないか」と答えたのを今でも覚えています。なるほど、そういう考え方もあるんだと衝撃的でした。確かに、危なっかしくてハラハラする演奏よりも、心地よくてウトウトできるいい演奏が聴けるのは贅沢ですから。眠くなるのはそれだけいい音楽で、いい演奏だからと思います。



たなか くにのり  
田中 邦典 さん

佐賀整肢学園  
法人事務局

**Q** オーケストラに所属されているそうですが、オーケストラでの演奏はどのような感じですか？

**A** オーケストラでの演奏は、ソロとは違ってチームプレーなので、自分の演奏だけではなく、他のパートがどう弾いているかを意識することが重要です。自分のパートが弾けることは大前提で、なかなかハードルが高いのですが…。指揮者の方も音に対していろいろな解釈があるので、合わせの練習をするのはとても楽しいですよ。全体のバランスを考えて、自分たちのパートの音量を調節したり他のパートと弾き方を揃えたりと、トータルで演奏が完成することを考えています。

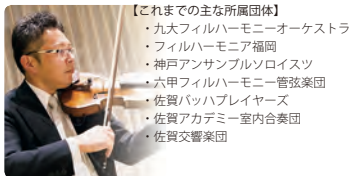
バイオリンは鎖骨と顎で楽器を構えるので、顎にアザができています。練習がたてこんでくると、アザのところが増れてくるので、もしそうならいけば「練習頑張ってるね」と思ってください（笑）

**Q** 法人内の事業所でもときどき演奏されているそうですが？

**A** これまで、こどもセンター、オックス、清流苑、からつセンターで演奏させていただいたことがあります。利用者の方に、生の演奏を聴いていただけることはうれしいです。それに私は事務方で、普段利用者の皆さんと関わる機会が少ないので、声をかけて頂くことで利用者の方と接することができ、感謝しています。ただ、私がおもつと上手ければいいのですが、そのへんはご容赦くださいといったところです。

**Q** 最後に一言お願いします。

**A** 私の場合は、楽器が気分転換になっています。いろいろなかたちで気分転換のツールをもつことは大切だと思うので、皆さん一人ひとりの気分転換のツールをもっていればと思います。あとは宣伝ですが、現在所属している佐賀交響楽団で毎年年末にベートーヴェンの第九を演奏しています。2月頃に定期演奏会がありますので、機会があればご来場いただければ幸いです。



【これまでの主な所属団体】

- ・九大フィルハーモニーオーケストラ
- ・フィルハーモニア福岡
- ・神戸アンサンブルソロイスト
- ・六甲フィルハーモニー管弦楽団
- ・佐賀パッパプレイヤーズ
- ・佐賀アカデミー室内合奏団
- ・佐賀交響楽団

## 局長随想 『沈黙』で思うこと

日経新聞の首相官邸欄に、安倍首相がマーティン・スコセッシ監督の映画『沈黙・サイレンス』を観に行かれたと報じられた。この映画の原作は遠藤周作の代表作で、昭和41年に発表されたキリスト教文学の最高傑作小説『沈黙』である。

物語の舞台は、キリスト教が禁止された江戸時代の長崎。ポルトガル人宣教師ロドリゴは、かつて師と仰いだ宣教師フレイラが、日本で切支丹弾圧に屈して棄教したの噂を聞き、この真偽を確認するため、隠れキリシタンのキチジローのモテで日本に潜入し、布教活動に当たる。しかし、キチジローの裏切りによって投獄され、自分の信仰を守り通すため殉教することを考えるが、かつての恩師フレイラにより、自分が棄教しない限り、他の信徒たちが残忍な拷問をうえ続けられるという残酷な事実を告げられる。そして、ついにロドリゴも踏絵を踏んで棄教する道を選ぶのだが…。非常に崇高な宗教的なテーマを有する作品であり、以下は是非小説の一読をお奨めしたい。

この作品を執筆するにあたって、遠藤周作がイメージを膨らませた場所が、長崎市外海(そとめ)地区である。『沈黙』を執筆するにあたり、キリシタンに關係する土地を取柄とした作者は、外海地区に当時実在した『黒崎村』を小説中の『トモギ村』のモデルの一つとして設定したのである。現在は、長崎市の外海地区にある西出津町、東出津町、下黒崎町などにあたる。そして、東出津町の、角力灘(すもうなだ)を一望に見下ろすことができる絶好の場所に、遠藤周作文学館がある。以前、日経新聞の日曜の歌壇に「こんなにも哀しき碧か殉教の魂 魂きみし外海(そとめ)の海は」という短歌が載せられていた。まさに文学館のテラスから見る外海は、キリシタン弾圧に沈む歴史を呑み込んで、圧倒的な迫力で見られるものに通っている大パノラマである。当文学館には、遠藤周作の没後、手元に残された約3万点にも及ぶ、遺品・生原稿・蔵書等が奇麗・奇麗と、展示されている。自分は、この文学館を、これまで3回ほど訪れているが、行くたびに新たな感動を覚えて帰っている。特に雄大な角力灘に沈む夕陽は、神々しいまでの美しさであり、またの再訪を期するほどである。

ここへのお奨めのアクセスは、ハウステンボスの法人保養所に宿泊後、西海橋から、大車、大瀬戸を經由する国道202号をドライブする。遠くに五島列島を望んで走る海沿いの道は「ながさきサンセットロード」と称され、キリシタン遺跡など、見どころの多いドライブコースとなっている。是非、御家族やカップルで訪ねて見てほしいかながらで。

## Relay Column

## リレーコラム



かんざき日の隈寮  
入所サービスク  
生活支援係 リーダー

きと みえ  
木戸 美恵

思ってもみなかった仕事に就き、早9年が経とうとしていますが。大学在学中、精神障がいを専攻していたものの「精神障がい関連の仕事が自分でできるだろうか」と不安に思っていました。しかし、4年生の精神保健福祉実習を沖縄県で1ヶ月過ごし、『障がいの枠にとらわれないいろいろな人と共に生きる』という実習前の思いが確信となり、そういう仕事ができたらいいなと思ったことが始まりでした。就活をし直し、たまたまかんざき日の隈寮の求人に行き着き、一度は諦めた履歴書を滑り込みで提出。縁あってこの仕事に就くことができました。

入職してからは、精神保健福祉士としての仕事を任せてもらえることが多く、全国各地の研修に行かさせていただいています。特に、依存症関連の研修では良き出合いが広がり、自分の大きな支えになっています。障がいの枠を越え、多様な方々の入所がある日の隈寮では、日々大変ながらも、職場のチームに恵まれ、毎日頑張ることができています。

数年前より、母校西南学院大学にて精神保健福祉の講義の機会をいただくことがありました。学生の頃を思い起こし、10年前の自分がこういう仕事をしているとは思ってもみなかったと振り返りました。様々な偶然が重なり、自分のまわりに起こった出来事や人との縁が今の自分を作ってくれたと思います。日々、何事にも感謝の気持ちを持ち、これからも精一杯仕事に励みたいと思います。

NEXT…かんざき清流苑のあの人にバトンタッチ!!

平成 28 年 11 月～平成 29 年 1 月

### 協力ボランティア

- 【子ども】 金立町浮立保存会様 佐賀県青少年会様 佐賀西ロータリークラブ様 佐賀市観光課様 西九州大学様  
NPO法人救済シャイン様 SVC様 サガン鳥栖様 佐賀工機様 親和会様 整肢学園友会の会様 なでしこの会様
- 【オークス】 若宮原生会様 若宮原婦人会様 佐賀信用金庫様 西九州大学様
- 【清流苑】 聖華園様 踊り座様 ビューラ神崎様 ルンリンクラブ様 サポート事業 琴演奏 山崎節子様(藤間流日舞)
- 【からつ】 山田圭様(ひん教室) 川町恒子様(書道教室) 加藤万里子様(民謡教室) 田村静二様(絵画教室) 無淨呂正様(陶芸教室) 辰野真由美様(手芸教室)
- 【日の隈】 小椋保育園様 山崎節子様(日舞クラブ) 三好富美子様(生花クラブ) 久保田美保様(ヨガ教室) 西九州大学様 静浄会様
- 【向・わ】 佐賀少年刑務所様 金立町社協様 九州電力佐賀営業所様 高志館高校様 佐賀教務所様

### 施設見学者来訪

- 【子ども】 中原特別支援学校 1 名様
- 【オークス】 金立特別支援学校 7 名様 長光園 2 名様
- 【清流苑】 サジク総合社会福祉館様
- 【からつ】 退職公務員連盟親分会 25 名様 糸島市人権・同和教育研究会 障がい者の人権分科会 10 名様
- 【日の隈】 香南会 6 名様 サジク総合社会福祉館様
- 【向・わ】 佐世保市長寿社会課 1 名様 おたっしや本舗鍋島 2 名様

### 実習生受入

- 【子ども】 佐賀市医師会立看護専門学校 96 名
- 【オークス】 西九州大学社会福祉学科 1 名 金立特別支援学校就業体験 7 名 佐賀県立盲学校就業体験 1 名 うれしい特別支援学校就業体験 1 名
- 【清流苑】 佐賀女子高校 12 名 神埼清明高校 6 名 佐賀市医学部 3 名 喀吸吸引実習 1 名
- 【からつ】 西九州大学リハビリテーション学科 2 名 唐津特別支援学校 1 名(就業・施設体験)
- 【向・わ】 佐賀大学小中連携教育コース 1 名

## 見どころ

本年も学園タイムをよろしくお願ひいたします。本号の特集では就労支援での農業を紹介しています。白菜を使ったレシピを掲載していますので、どうぞお楽しみに!また、お野菜を使ったアイデアレシピがあればお近くの編集委員へ教えてください。機会があれば紹介させていただきますね!季節の変わり目ですので、風邪等を引かないよう、お気を付けてお過ごしください。

